

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	庁舎(本庁舎・第二庁舎・第三庁舎・議場棟・公会堂・さんさん館)										
事業所番号	A	1	0	3	5	－	0	0	1	3	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	－	0	0	1	4	区市町村名	東京都三鷹市
	町名番地下	野崎1－1－1									
事業所等の延床面積	25,047.50		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年未満					
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有										
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店		■ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 再生可能エネルギー電気の受入 □ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	539	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,047	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	1,056	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	41.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量	
							排出係数	排出量 ^{※1} (t)
				⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	9,634.6	45.00	433.6	0.0136	21.6
	その他(A重油)	☐	L	282.0	39.10	11.0	0.0189	0.8
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	2,096,327.0	9.76	20,460.2	0.4890	1,025.1
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						⑪ 20,904.7	⑫	1,047.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	13,575.0			0.2660	3.6
	公共下水道	☐	m ³	13,956.0			0.4000	5.6
合 計							⑬	9.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出係数は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

対策メニュー上記以外:C128、C507、C509、C512、C513、C516、C519 C524、C510、C906、C908、C931、E111、E112、E129、E130、E133、E139 E141

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大沢コミュニティ・センター											
事業所番号	A	1	0	3	5	—	0	0	1	2		
事業所等の所在地	〒	1	8	1	—	0	0	1	5	区市町村名	東京都三鷹市	
町名番地下	大沢4-25-30											
事業所等の延床面積	3,678.28			m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=㉑×0.0258)		①	55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=㉒)	②	107	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=㉓)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	108	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1,000/事業所等の延床面積)	⑤	29.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×14/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	9,346.6	45.00	420.6	0.0136	21.0
	その他(LPG)	☐	kg	7.1	50.80	0.4	0.0161	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	☐	kWh	148,311.0	9.97	1,478.7	0.4890	72.5
	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	28,163.0	9.28	261.4	0.4890	13.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬
合 計						⑭	2,161.0	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,145.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,145.0			0.4000	0.9
合 計							⑯	1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A214	温暖化対策優良事例の情報収集
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	湿湿度の適正管理
		C508	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

対策メニュー 上記以外: C129・C133・C502・C503・C505・C514・C516・C519・C510・C524・C916・C927
--

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	牟礼コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	－	0	0	1	8
事業所等の所在地	〒	1	8	1	－	0	0	0	2	区市町村名東京都三鷹市
町名番地下	牟礼7-6-25									
事業所等の延床面積	2,479.74		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	42	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	82	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	83	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	33.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	8,965.7	45.00	403.5	0.0136	20.1
	その他(LPG)	☐	kg	5.7	50.80	0.3	0.0161	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
			kWh	126,662.0	9.76	1,236.2	0.4890	61.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.4890	⑬
合 計						⑭	1,640.0	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,814.0			0.2660	0.5
	公共下水道	☐	m ³	1,814.0			0.4000	0.7
合 計							⑯	1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
		B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C103	日本工業規格に準じた照度の設定	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C104	採光を利用した消灯の実施	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C508	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃	
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
		D106	ボイラ等の定期点検の実施			
		設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
			E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
	E114		高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
	E123		トップランナー機器の採用	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

対策メニュー上記以外:C129

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	井口コミュニティ・センター										
事業所番号	A	1	0	3	5	ー	0	0	1	1	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	ー	0	0	1	1	区市町村名	東京都三鷹市
	町名番地下	井口1-13-32									
事業所等の延床面積	2,268.42		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	99	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	101	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,597.4	45.00	206.9	0.0136	10.3
	その他(LPG)	☐	kg	4,541.2	50.80	230.7	0.0161	13.6
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	128,367.0	9.97	1,279.8	0.4890	62.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	夜間(22時～翌日8時)	kWh	25,811.0	9.28	239.5	0.4890	12.6
			kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.4890	⑬
合 計						⑬	1,956.9	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,053.0			0.2660	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,053.0			0.4000	1.2
合 計							⑯	2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量(⑩)は、⑩=⑥/1,000×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A211	所内で温暖化対策情報の提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	探光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C119	自動販売機の不要時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
		E114	高効率パッケージの採用		
E123		トップランナー機器の採用			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

対策メニュー 上記以外: C502、C503、C505、C507、C512、C513、C515、C516
C519、C510、C927

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	井の頭コミュニティ・センター										
事業所番号	A	1	0	3	5	ー	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	ー	0	0	0	1	区市町村名	東京都三鷹市
町名番地下	井の頭2-32-30										
事業所等の延床面積	1,984.27		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)	①	38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	74 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0 t
	総計(④=②+③)	④	74 t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	37.2 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
都市ガス	☐	Nm ³	480.4	45.00	21.6	0.0136	1.1
その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
	電線路を介して供給された電気	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	149,194.0	9.76	1,456.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			☐	kWh	0.0	9.76	0.0
合 計					1,477.8		74.0
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	872.0			0.2660
	公共下水道	☐	m ³	872.0			0.4000
合 計							0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備						
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
		B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネ エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C519	季節に応じた温度設定の見直し	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C524	水道メータ等で漏水の有無の点検	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更			
		C508	空室・不在時等の空調停止			
	設備保守対策					
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検	
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用	
E103		高効率照明器具の採用(屋内)				

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新川中原コミュニティ・センター										
事業所番号	A	1	0	3	5	ー	0	0	1	4	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	ー	0	0	0	4	区市町村名	東京都三鷹市
町名番地下	新川1-11-1										
事業所等の延床面積	2,572.74		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	44	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	84	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	85	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	32.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
							排出係数	排出量 ^{※1} (t)
				⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	6,348.0	45.00	285.7	0.0136	14.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	☐	kWh	124,684.0	9.97	1,243.1	0.4890	61.0
	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	19,384.0	9.28	179.9	0.4890	9.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						⑪		⑫
						1,708.6		84.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,170.0			0.2660	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,170.0			0.4000	0.9
合 計								⑬
								1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	室温の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	C508	空室・不在時等の空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
設備導入対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施			
	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

対策メニュー上記以外: : C132、C502、C505、C512、C516、C519

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	連雀コミュニティ・センター										
事業所番号	A	1	0	3	5	ー	0	0	2	0	
事業所等の所在地	〒	1	8	1	ー	0	0	1	3	区市町村名	東京都三鷹市
町名番地下	下連雀7-15-4										
事業所等の延床面積	2,887.96		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	59	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	115	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	117	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	39.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量		
							排出係数	排出量 ^{※1} (t)	
				⑥	⑦	⑧=⑥/1000×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,931.9	45.00	221.9	0.0136	11.1	
	その他(灯油)	☐	L	90.0	36.70	3.3	0.0185	0.2	
	その他(LPG)	☐	kg	24.0	50.80	1.2	0.0161	0.1	
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	213,102.0	9.76	2,079.9	0.4890	104.2
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
合 計						⑪	2,306.3	⑫	115.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,720.0			0.2660	1.0	
	公共下水道	☐	m ³	3,720.0			0.4000	1.5	
合 計								⑬	2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=⑥/1,000×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
	A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C508	空室・不在時等の空調停止	C510	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
		E123	トップランナー機器の採用	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
			E121	高効率ボイラの採用(給湯用)	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹駅前コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	—	0	0	0	8
事業所等の所在地	〒181—0013 区市町村名 東京都三鷹市									
町名番地以下	下連雀3-13-10									
事業所等の延床面積	4,559.20		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分		☐ 1年未満	
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8		2		1		1		連鎖化事業区分 ☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=㉑×0.0258)		①	63	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=㉓)	②	122	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=㉔)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	122	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	26.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
				⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑪×14/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	289.0	45.00	13.0	0.0136	0.6
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	☐	kWh	212,321.0	9.97	2,116.8	0.4890	103.8
	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	36,950.0	9.28	342.9	0.4890	18.1
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2	☐	kWh	⑬	0.0	⑭	0.0	⑮
合 計						⑭	2,472.7	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,453.0			0.2660	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,453.0			0.4000	0.6
合 計							⑯	1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用的人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たりの量)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

対策メニュー 上記以外: C510・C513・C514・C516・C901・C904・C909・C927・D201・D202・D204・D205・D216・E201・E202

(日本産業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市産業プラザ									
事業所番号	A	1	0	3	5	ー				
事業所等の所在地	〒	1	8	1	ー	0	0	1	3	区市町村名 東京都三鷹市
町名番地下	下連雀3-38									
事業所等の延床面積	3,576.43		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☐ 1年度分 ☒ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点	新規登録									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=③×0.0258)		①	69	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	134	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	134	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	37.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量		
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
	その他()	☐		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0	
			kWh	275,739.0	9.76	2,691.2	0.4890	134.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.4890	⑬	
合 計						⑬	2,691.2	⑭	134.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,234.0			0.2660	0.3	
	公共下水道	☐	m ³	1,234.0			0.4000	0.5	
合 計							⑯	0.8	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=⑥/1,000×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
省エネルギー対策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C519	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
				E130	全熱交換器の導入
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

対策メニュー上記以外:B105、B106、B107

(日本産業規格A列4番)